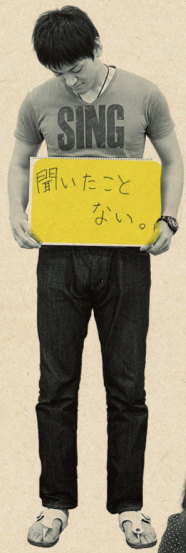


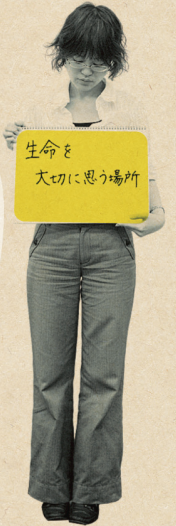
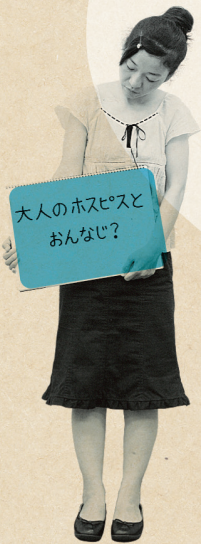
child ?



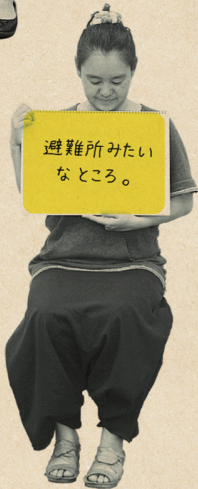
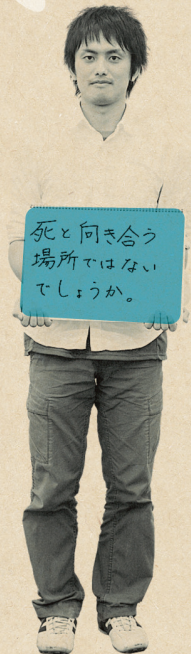
日本には
ないと思う...



子どもホスピスって なんだらう?



hospice ?



7月25日



みんなで考えるフォーラムを開催します!

子どもホスピスを考えるミニフォーラム2010

子どもホスピスってなんだろ？

あなたは“子どもホスピス”を知っていますか？

“おとなのホスピス”を知っている方は多いかもしれません。でも“ホスピス”という言葉に誤解が伴うこともよくあります。私たちは、子どもたちのためのホスピスが福岡にあったらいいなと思っています。私たちのまちに必要なもの。そして何より、子どもたちが幸せに生きるために必要なもの。ホスピスを知っている人も知らない人も… まずは、どなたでも気軽に参加できるフォーラムを開催しようと考えました。私たちと一緒に考えてみませんか？みなさまのお越しをお待ちしています。

2010.7.25 (日) 九州大学 箱崎理系キャンパス
14:30~17:00 創立50周年記念講堂2階ファカルティクラブ

ナビゲーター 濱田裕子・樋口龍二 参加費 無料 / 先着 100 名

■参加方法 当日飛び込みでの参加も可能ですが、先着 100 名となります。「お名前」「ご所属」「メールアドレス」をご記入の上、fukuoka.kodomo.hospice@gmail.com までお申し込み下さい。メールでお申し込みができない方は 090-5931-7441 (石田) までお問い合わせ下さい。また、座席等にご配慮が必要な方は事前にご連絡下さい。



13:30 より同会場にて、ワレワレワークスによる「時から外れた日～セレモニーダンス『祈り』」を開催します(無料、予約不要)。ぜひお越し下さい。ワレワレワークスとは、障がいのある人を含め、一般人からプロフェッショナルまでダンス・アート・音楽でつながっているネットワークです。 <http://dance-samadhi.petit.cc/>

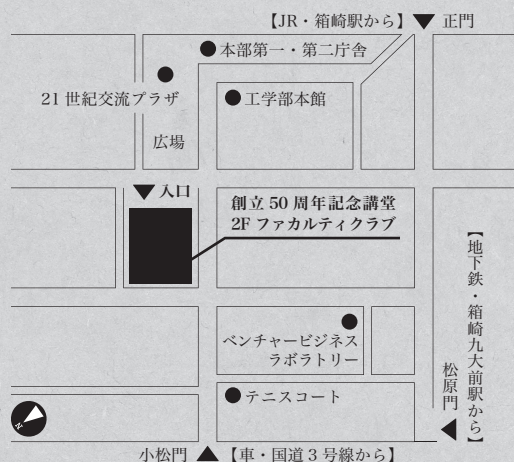
ナビゲーター・プロフィール

濱田裕子 (はまだゆうこ)

九州大学医学研究院 准教授。専門は小児看護学、家族看護学。難病の子どもと家族のヘルスプロモーション、生活支援がテーマ。病気や障がいがあってもすこやかに生活できる社会をめざして、医療や福祉、保育、教育、芸術などを統合した子どもの居場所について、様々な人びととつながりながら探求している。

樋口龍二 (ひぐちりゅうじ)

特定非営利活動法人「まる」代表理事。障がいのある人たちの生存、安心など保障面のサポートだけでなく、自分らしく生きるための「生き方」や、個々の役割を実感できる「働き方」の提案をアート(表現活動)を通じて社会へ構築する活動を行う。法人設立後は、「障がい」「福祉」「アート」「教育」などの概念を柔軟に包括できる社会づくりに向けて、対外的なプロデュース活動を行っている。



九州大学箱崎理系キャンパス / 福岡市東区箱崎 6-10-1

共催：九州大学大学院ユーザー感性学専攻 福岡子どもホスピスプロジェクトチーム / 箱崎アートターミナル 2010 実行委員会

本ミニフォーラムは、平成 22～25 年度科学研究費補助金基盤研究 (C)「難病の子どもの居場所を創造するアクションリサーチ - 日本型子どもホスピスの探求 -」(研究代表者 濱田裕子)の助成を受けて開催します。また、福岡市東区コミュニティユース2010助成事業「箱崎アートターミナル2010」との共催です。「箱崎アートターミナル2010」とは、「響きあう『アート×生命×ケア』」をテーマとした箱崎のまちを舞台とするアートフェスティバルです。 <http://h.kansei-science.com/>